

委員会構成

委員長 泉田 征慶

委員 網代 智明・町田 晃・増子 義夫・善方 邦彦・田代 行孝・後藤 忠久

増子 博保・渡辺 浩子・板橋 真仁・林 克重・菅野 秀士・宮本 多可夫・渡部 則也

他外部有識者 2 名

危機管理委員会の委員長は、恒例で直前ガバナーが務めることになっておりますので、2026-27 年度の危機管理委員会委員長を務めさせていただきます。

危機は、予期せぬ時に突発的に発生し、即座の判断と対応を求められるものであります。発生頻度は高くなくとも、事故、暴力、自然災害、政情不安、感染症の拡大などが生じた際には、その影響は甚大であり、平時からの備えが何より重要となります。私たちは東日本大震災、さらには新型コロナウイルス感染症の経験を通じて、その重要性を改めて認識してまいりました。

中でも、ロータリーが重点を置く青少年プログラムにおいては、危機管理の徹底が最も重要な責務の一つであります。青少年交換事業をはじめとする各種プログラムでは、文化や生活環境の違いから課題が生じることも少なくなく、受入・派遣の双方に対して細心の注意と継続的な見守りが求められます。特に、青少年に対するハラスメントについては、いかなる理由があろうとも一切容認されるものではありません。

ロータリーは、すべての人にとって安全で、尊厳と敬意が守られる環境を維持することを基本理念としております。同意のない身体的接触や不適切な言動、差別的な発言など、あらゆるハラスメント行為は明確に排除されなければなりません。また、青少年に関わる事案については、定められた規程に基づき、迅速かつ適切に対応することが強く求められております。

さらに、私たちロータリアン一人ひとりには、「ロータリアンの行動規範」に基づき、高い倫理観をもって行動し、ハラスメントのない環境づくりを積極的に支える責務があります。万一疑いが生じた場合には、速やかに報告し、被害の拡大防止と再発防止に努めるとともに、報告者が不利益を受けることのない体制を確保しなければなりません。青少年保護は、すべての活動の前提であり、最優先事項であります。

本セミナーが、各クラブにおいて安全で安心な環境を確立し、青少年が信頼のもとに成長できる基盤をより強固なものとする契機となることを心より期待申し上げます。